Art Fair

SHU SHU SHU SHOW

蒐集衆商

会期　[前期] 2018 年 10 月 20 日（土）ー10 月 22 日（月） 11:00-20:00
[後期] 2018 年 10 月 25 日（木）ー10 月 28 日（日） 11:00-20:00
会場　スパイラルガーデン（スパイラル 1F）

出展作家、関連プログラム決定！
クリエイティブ業界屈指の目利きが選ぶアートフェア！

1.レアンドロ・エルリッヒ《Frozen Cloud XIII》（2018）MDF、アクリル、塗装　W230 x D325 x H175mm　¥1,350,000（税抜）
Courtesy of Art Front Gallery
2.《古高取茶碗》17世紀頃、陶器　W104 × H 80mm　¥650,000（税抜）
3. オイバ・トイッカ《Lollipop》1980代 ガラス　H400 x W240mm ¥1,400,000（税抜）
4. O JUN《飛び立つ鳩に驚く私 / A Pigeon Flies Off, I Get Startled》（2015） 銅版、リトグラフ H808 x W608 mm ¥170,000（税抜）
5. アルヴァ・アアルト《Armchair 31/42》1930年代　Artek　W630 × D770 × H630mm　¥1,500,000（税抜）
6. 鬼頭健吾《untitled》（2016）アクリル、グリッター、鉛筆、紙　H478 x W360 x D40 mm（フレーム込）　¥165,000（税抜）
© Kengo Kito Courtesy of Kenji Taki Gallery
7. 手塚愛子《Fragile Surface(daydream) 2018-004》unravelled fabric　H420 × W280mm

スパイラルは、「Selected Art Fair 2018『蒐集衆商』」を、2018年10月20日（土）—10月28日（日）にスパイラルガーデン（スパイラル 1F）にて開催します。
本フェアは、日常生活にアートを取り入れた豊かなライフスタイルを提案するため、美術作品を気軽に購入できるアートフェアとして昨年リニューアルしました。「蒐集する悦び」「コレクションの魅力」に焦点を当て、クリエイティブ業界で活躍するキュレーターやデザイナー、コレクターが選んだ逸品を紹介する「セレクターエリア」と、現代アートシーンを牽引するギャラリーがセレクトした作品を展示販売する「ギャラリーエリア」の2つのエリアで構成されています。今回は、気鋭の若手作家から物故作家まで幅広く紹介し、絵画や彫刻をはじめ、骨董、工芸、家具など、暮らしに取り入れやすい多種多様な作品が一堂に会します。
作品購入経験のない方からコレクターまで愉しめる本フェア、この機会にぜひご取材、ご掲載を検討くださいますよう、よろしくお願いいたします。

ご掲載に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。
スパイラル／株式会社ワコールアートセンター　広報部　浅野仁美
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23
TEL 03-3498-5605　FAX 03-3498-7848
E-mail press@spiral.co.jp　SPIRAL WEB http://www.spiral.co.jp/

spiral

開催概要

名称：Selected Art Fair 2018「蒐集衆商」
会期：[前期]2018 年 10 月 20 日（土）ー10 月 22 日（月） 11:00-20:00
[後期]2018 年 10 月 25 日（木）ー10 月 28 日（日） 11:00-20:00
※10 月 23 日（火）、24 日（水）は入れ替えの為、クローズ
会場：スパイラルガーデン（スパイラル 1F）
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23
入場無料
URL：http://www.spiral.co.jp/takeart/
主催：株式会社ワコールアートセンター／企画制作：スパイラル
プログラムパートナー：DESIGNART TOKYO 2018、青参道アートフェア 2018
特別協賛：Perrier-Jouët／協賛：クライン ダイサム アーキテクツ × カリモク
会場構成：設計事務所 ima（イマ）小林恭＋マナ／グラフィックデザイン：田部井美奈
お問い合わせ：03-3498-1171（スパイラル代表）

ギャラリーエリア

※2018 年 10 月 10 日現在。出展作品は変更する場合があります。

ギャラリーを単位にブース出展形式で作品を展示販売するギャラリーエリアでは、海外は韓国から、日本は愛媛から東京まで、全 19 のギャラリーが出展します。近代美術、現代アート作品をはじめ、骨董、工芸、家具など、さまざまなジャンル・年代の品々が一堂に会します。

＜前期ギャラリー＞
AKIKO TAMADA
ギャラリー北欧器（東京）
TS4312（東京）
t.gallery（東京）
版画工房 エディション・ワークス（東京）
YUKI-SIS（東京）
Yoshimi Arts（大阪）
LAD GALLERY（愛知）
Röntgenwerke AG（東京）

＜後期ギャラリー＞
アルテクラシカ by 石黒ギャラリー（東京）
hpgrp GALLERY TOKYO（東京）
Gallery IRRITUM Tokyo（東京）
CRISPY EGG Gallery（神奈川）
Satelites ART LAB.（東京）
SNORK modern and contemporary（山梨）
鳩ノ森美術（東京）
北欧家具 talo（神奈川）
MUSTAKIVI（愛媛）
WANNMUL（韓国、ソウル）

＜出展作家＞
前期
ウィルヘルム ・コーゲ、植松永次、岡本奇太郎、今野敬子、川﨑広平、上出惠悟、興梠優護、笹川治子、佐藤妙子、内藤絹子、西山美なコ、外丸治、高橋芙美子、辰野登恵子、ベルント・フリーベリ、蛇目、藤田クレア、水谷昌人、矢部裕輔、山口藍、湯浅克俊、柳田有希子、李花子、ルーシー・リー、レイチェル・アダムス ほか
後期
青木良太、Wook Heo、ククォン・ウー、アルヴァ・アアルト、イルマリ・タピオヴァーラ、榎倉康二、オイバ・トイッカ、加藤真史、菊谷達史、鮫島大輔、サダヒロカズノリ、日比淳史、パブロ・ピカソ、パーヴォ・ティネル、美術太郎、森 勉、吉原宏紀 ほか

セレクターエリア

※2018 年 10 月 10 日現在。出展作品は変更する場合があります。
セレクターエリアは前期・後期の入れ替えはありません。

確かな質を保証し、選ぶ愉しさを重視する本フェアでは、キュレーターやデザイナー、コレクターなど各分野を代表する目利きが選出した、作家たちのバラエティに富んだ作品の数々を展示販売します。国内外で活躍する中堅作家の版画作品から若手作家の絵画まで、20万円以内で購入できる作品も多数展開。初めて作品を購入される方にも手の届きやすいラインナップを取り揃えています。

＜セレクター＞

木田隆子／エル・デコ ブランドディレクター
小林恭＋マナ／設計事務所ima（イマ）
住吉智恵／アートプロデューサー、ライター
遠山正道／株式会社スマイルズ　代表取締役社長
南條史生／森美術館館長
西高辻信宏／太宰府天満宮 権宮司
matohu／デザイナー　堀畑裕之　関口真希子
皆川明／minä perhonen 代表、デザイナー

＜出展作家＞

青山悟 、秋山幸、磯辺行久、今村遼佑、入江明日香、宇田川愛、enamel.、大野智史、O JUN、大西伸明、大平真梨、大巻伸嗣、鹿児島睦、金氏徹平、上路市剛、川北ゆう、川俣正、神戸智行、鬼頭健吾、クラトミタカユキ、康夏奈、小松宏誠、古賀充、阪本トクロウ、鈴木星亜、染谷聡、曽谷朝絵、高木陽太、ダミアン・ハースト、津上みゆき、手塚愛子、東城信之介、中岡真珠美、中村弘峰、中谷ミチコ、悠、樋口明宏、平林貴宏、 Yoshiko Fujita、藤田道子、藤城成貴、北城貴子、久村卓、前田エマ、桝本佳子、松岡亮、三瀬夏之介、三田村光土里、宮田彩加、元田久治、森本美絵、山口藍、山口英紀、山本太郎、横野明日香、レアンドロ・エルリッヒ　ほか

セレクターコメント ピックアップ

小林恭＋マナ

作家：enamel.、鹿児島睦、古賀充、藤城成貴、森本美絵

普段から、ファッションやアート、デザインなどの領域を、ヒエラルキーなく捉えていて、今回選出したアーティストも、生活に「楽しみ」や「潤い」を与えてくれるものという観点で、パッと見で目を惹くものを中心にセレクトしました。自分の「好き」という感覚を大事に、作品との出会いを愉しんでいただきたいです。

鹿児島睦 Makoto Kagoshima
左から《une amie ふくろう》￥140,000（税抜）
《une amie 1》￥120,000（税抜）
《une amie 2》￥120,000（税抜）
《une amie はと》￥140,000（税抜）
※全て、2018 年制作。陶土、顔料。

住吉智恵

作家：久村卓、藤田道子、三田村光土里

老舗ブランドのシンボルを拡大し、街中のモニュメントに置換えた刺繍に、軽やかなアイロニーを利かせたユーモアを作品に取り入れる、久村卓さん。フラジャイルで繊細な素材を扱い、日常の空間に光や空気の通り道をつくる透明感に満ちた作品を制作する、藤田道子さん。見知らぬ人の記憶や物語を覗き込ようなシュルレアリスム的な愉しみを感じさせる、三田村光土里さん。作品に、都市生活者的なセンスとユーモアがあり、手技による仕上げの端正さが際立つ作家を選出しました。

久村卓 Taku Hisamura
《PLUS_LACOSTE_sky blue stripe》(2018)
シャツに刺繍　￥80,000（税抜）

遠山正道
作家 ： 今村遼佑、康夏奈、高木陽太、前田エマ、
Yoshiko Fujita

現代アートの楽しみのひとつは、キャリアの浅い時に作品を購入し、作家や作品の成長を楽しむことができること。今回は、各地の芸術祭やアートフェアを巡る中で出会った気鋭の若手作家から、眺めていると、ほっこりするような優しい印象を持つ作品を選出しました。そのほか、手織りじゅうたんメーカー「山形緞通」の協力のもと、自身が、りんごをモチーフにデザインした、じゅうたんなど、生活空間でアイコンとして映えるようなアイテムもセレクトしています。

Yoshiko Fujita
《Behind the curtain》(2017)
キャンバスにアクリル絵具 ￥100,800（税込）

プログラムパートナー

会期中は、青山周辺で開催される「DESIGNART TOKYO 2018」と「青山道アートフェア 2018」と連携し、カンファレンスや、アートフェアツアーイベントを開催します。アートやデザインに気軽に触れる機会を青山・表参道エリアー帯で創出します。

CREATIVE CONFERENCE BRIDGE BY DESIGNART TOKYO

DESIGNART Conference “BRIDGE”

東京を舞台に開催するデザインとアートのフェスティバル「DESIGNART TOKYO 2018」。スパイラルホールでは、「WORK」「TECHNOLOGY」「ART」「LIVING」「CLOTHES」「CRAFTSMANSHIP」の 6 つをテーマに、「蒐集衆商」のセレクターである、木田隆子、遠山正道、皆川明らも登壇する、カンファレンスを行ないます。クリエイターの立ち向かうべき未来について、ジャンルの異なるスペシャリストが繰り広げるトークセッションをお愉しみください。

日時：2018 年 10 月 20 日（土）13:30-20:00
2018 年 10 月 21 日（日）11:00-18:00
※両日程とも 3 テーマずつ開催。

会場 ： スパイラルホール（スパイラル 3F）

※プログラムは全て有料。詳しくは Peatix サイト（https://dat2018-conf.peatix.com）を確認の上、お申し込みください。

主催・お問い合わせ ：DESIGNART 実行委員会 TEL 03-6804-3819
プログラムパートナー：スパイラル／株式会社ワコールアートセンター
協賛：SONY、Perrier-Jouët
協力： MOLESKINE、P・R・I・M・V・S
オフィシャルバッグ：APOLIS

表参道アートフェア散歩

原宿、青山、表参道エリアにあるアパレルショップやインテリアショップを会場に、気軽にアート作品を楽しめる「青参道アートフェア 2018」。その主要会場と、「蒐集衆商」の、２つのアートフェアを解説付きで歩いて巡るイベントを開催します。ファッションやインテリアには興味があるけど、アートは買ったことがない。一人で会場に行くには、少し抵抗があるという方にお勧めの企画です。

土曜の朝の人が少ない時間に、アート作品が集う秋の表参道をじっくり歩いてみませんか。

日時：2018 年 10 月 20 日（土）11:00-13:00

会場 ： スパイラルガーデン(スパイラル 1F)、青参道アートフェア 2018 会場の数店舗

参加費：無料（先着 15 名）

※要事前申込。詳しくは、http://www.spiral.co.jp/takeart/をご覧ください。

関連プログラム

セレクタートーク

蒐集衆商セレクターであり、本フェア会場構成を手がける設計事務所 ima（イマ）の小林恭＋マナのお二人を迎えた、トークセッションを開催します。現代アート、工芸、ファッション、プロダクトなど、幅広い領域のコレクションで知られる両氏に、作品の選び方や生活空間への取り入れ方など、日常で作品を愉しむ方法をお伺いします。

日時：2018 年 10 月 27 日(土)13:00-14:30

会場：スパイラルガーデン(スパイラル 1F)

登壇者：小林 マナ、小林 恭 ／ 設計事務所 ima（イマ）

※参加費無料。申込不要。参加ご希望の方は、会場に直接お越しください。

同時開催

SPIRAL ART LOUNGE

Spiral Art Lounge Vol.2

スパイラルのグローバルなアートネットワークから毎回ユニークなゲストを招き、世界のアートシーンの「今」を語り合う「Spiral Art Lounge」。今回は、韓国で活躍するアーティストの Woosuk Jang の作品を展示販売するとともに、トークイベントでは、10 月上旬に開催した「KIAF(Korea International Art Fair)」や、現在開催中で世評が高い「光州ビエンナーレ」（2018 年 9 月 7 日—11 月 11 日）の動向に触れ、韓国ではなぜこんなにもコンテンポラリーアートがエッジでありつづけるのかを紐解きます。

トークイベント開催日時：2018 年 10 月 19 日（金）20:30-21:30

作品販売期間：10月19日（金）ー21日（日）11:00-20:00

※10 月 19 日は 21:30 まで

会場：スパイラルルーム（スパイラル9F）

※詳しくは、spiralartlounge.jp をご覧ください。